

# 人生の本舞台は

# 常に将来にあり

平成25年11月26日～28日 2泊3日 南阿蘇村議会議員14名・議会事務局2名 計16名

任期満了に伴う議会議員一般選挙後、初めての議員研修を行った。今回は国政の現状と地方の課題について、環境問題、議会活性化、その他6次産業化を目的に視察研修した。

## 坂本哲志代議士と会談・国会議事堂・憲政記念館



国会議事堂内を見学

衆議院第二議員会館の坂本哲志代議士室で、TPP交渉の動向をはじめ農地水、減反廃止、日本型直接支払制度等、農政の動向、農家の現状や南阿蘇村の要望・国政の動向について意見交換した。今後は大規模化や飼料米に転換が必要。

その後、国会議事堂内及び隣接する憲政記念館を視察。憲政の神様と呼ばれる、故 尾崎行雄先生の像と碑があった。

【人生の本舞台は常に将来にあり】という書に、この意味を深く胸に刻み、これからの南阿蘇のため議員活動をやらねばと、思いを新たにしました。

## ICETT 三重県国際環境技術移転センター

三重県四日市市は、大気汚染公害を、産業、行政、研究機関が一体となって、劇的に克服した経験を活かし、そのノウハウを開発途上国に移転するために、この施設を建設。諸外国から研修の受け入れや、講師の

派遣を行っていた。

本村でも、PM2.5や輸入食品の残留農薬等の問題はある。公害に対する認識・関心は常に必要である。

講師 三重県議会議員 石田成生先生



三重県議員 石田成生議員

その後、三重県議の石田成生氏の講話を聴き、開かれた議会、活性化について意見交換をした。議会広報の充実が一番であるとの結論を得た。

## 6次産業化成功農場

### 伊賀の里モクモクファーム

この農場は、6次産業化を成功させた先進地であった。テーマパーク・レストラン・通信販売まで行っていた。

手作りウインナーやハムの加工体験を機に口コミで、従業員1000名、年商50億円、来園者50万人にもなったという。

本村でも、生産者が自ら生産、加工、販売の精神をもっていけば、夢を実現できるのではないか。第一歩として農産物加工施設等を造り、景観を利用した観光施設と連携した農業を進めるべきだと痛感させられた。今回の研修で、議員間の親睦の深まりはもとより、自身の資質を高め、南阿蘇村発展のため、尽力していこうとの思いを強くした。



もくもくファーム内レストランの様子